

▶アンケート「明日のキリスト教学校」(3～2面)
▶キリスト教教育者物語(4面)
▶韓国基督教学校聯盟總會(〃)
▶2020年度学内教職員研修会講師派遣対象校(〃)
▶教職員就職支援登録について(〃)
▶キリスト教Q&A、公募、行事予定(〃)

キリスト教学校教育 3

2018・2019年度教研テーマ
キリスト教学校につながる喜び—多様性の尊重と共生をめざして—

(一社)キリスト教学校教育同盟
〒169-0051
東京都新宿区西早稲田2-3-18
日本キリスト教会館72号室
電話 03(6233)8225
FAX 03(6233)8226
理事長 西原 康太
編集人 田村 浩一
頒価200円(加盟法人の購読は会費に含まれています)
(毎月1回15日発行)

2019年度教研全国委員会

2019年12月26日 東京で開催される

20・21年度テーマ策定

2019年度教育研究 った。貧富の格差を生み出した。そのイ
委員会(教研)全国委員 出しているグローバル時 ストに学
会が19年12月26日、東京 代の新たな南北問題、自 び、生きる
・西早稲田のキリスト教 国中心主義の台頭、他者 意味を発見
・視聴覚センタールで開催さ への無関心の広がりとい 育こそがキ
れ、担当理事および20名 った現代社会の状況分析 リスト教
の委員が参加した。今回 と、疲弊し疎外されてい 育の役割で
は多くの時間を割いて、 る多くの現代人に対し はないか」
20・21年度の教研テーマ て、チームとしての教育 のある牧
を策定した。このテーマ を展開できるかどうか、 師の言葉を
は2年に1回決定される キリスト教学校が果たし 引用された
ものである。 ていくべき役割について のが印象的
冒頭の挨拶に続いて小 述べられた。まさに新し であった。

暮修也担当理事から「現 いテーマを検討するため 続く報告では、詳細に
代社会の課題とキリスト の導入ともいえる内容で まとめられた19年度の活 継者養成部会の各部会か
教学校の働き」と題し、 あった。特に締めくくり 動の点検評価一覧をもと かれて意見を交換した。
テーマ策定にあたっての として「魂に灯をつける 動の点検評価一覧をもと 長時間の議論の上で再
具体的分析と提案があ 真の教師はイエス・キリ 部会、小学部会、中高 事業としての「災害支援」 び全体会が開かれ、各グ
ループで出された意見を



部会、事務職員部会、後

講師派遣」等の中間報告 があった。それぞれの課 題や教研テーマとの関連 を中心に報告を聞いた。
いよいよ全体会では、 20・21年度の教研テーマ の策定についての協議に 入った。事前に各委員が ら提案されたテーマ案が 「希望」「喜び」「人格形 成」「愛」「平和」「ひとり を大切に」「今に生き 代」「語り合う」「共に生 きる」「使命」等の主題 ならに活性化していくこと を期待したい。

福島 旭
「関西学院中学部宗教主 事教研全国委員会委員」

加盟校動静

公文宏氏(前女子学院 理事長、元教育同盟常任 理事)
1月8日逝去、83歳。
葬儀は1月16日(木)正 午から日本キリスト教団 横浜指路教会で執り行わ れた。

2012年14年、教 育同盟常任理事を務めら れた。謹んで哀悼の意を 表します。

「アッバ、父よ、あなた 書いていないので、本当 と、すべてをお任せして は何でもおできになりま のところはわかりません が」と、前置きした後で こう書いてもらいます。
取りのけてください。し 「十字架にかかるのを避 けたくかった。そして付 け加えて言います。「私 たちは、自分の正直な思 いを、神さまにお祈りし て良いのです」。



木戸健一



聖書のことは

やはりイエスさまも、 神さまの御心は、罪に よる死と滅びから体のよ みがえりと永遠の命に、 私たちを救い出すことと 十字架につけられないで 十字架に上る道を、確信を 持つて伝えて行く者であ る。イエスさまの御心と 一つになられました。そし て遂に神さまの御心を 現されたのです。

「杯と御心」について は、私自身、あまり悩ま ざに心えることができま す。ところが「わたしの 願い」について心えるの は、なかなか難しいと思 います。私は「聖書には の通りにありますように 等学校チャプレン」

2020・2021年度教研テーマ

キリスト教学校の 使命と可能性
いのちの尊さと平和を求めて



小暮修也

私たちを取り巻く社会や 世界を見つめてみたい。 現代は地球規模の光と影 が交錯している。世界の貧 富の格差は解消されず、新 たな南北問題が生じてい る。他方で地球温暖化やプ ラスチックごみ問題等の 取り組みも必要とされてい る。また、1776年のア メリカ合衆国独立宣言は 「われわれは、自明の真理 として、すべての人は平等 に造られ、造物主によっ て、一定の権利を天赋の 権利を付与され、そのなかに生命、自由および幸福 の追求が含まれていること を信ずる。」と表明した。 しかし、自分たちと異なる 者を排除する自国中心主義 が世界に広がっている。

をめぐることである。昨年 暮れに天に召された中村哲 さんが、2016年、母校 の西南学院百周年記念講演 会で、アフリカニスタンで医 療だけでなく水を引くこと によって田畑をつるおす働 きをしていること、現地の 人々と共に生きることを熱 く語っていたことを忘れる ことができない。中村さん は著書で次のように記して いる。「天、共に在り」： この縦糸は、我々を根底か ら支える不動の事実であ る。やがて、自然から遊離 するバベルの塔は倒れる。 人も自然の一部である。そ れは人間内部にもあって生 命の営みを律する厳然たる 摂理であり、恵みである。 科学や経済、医学や農業、 あらゆる人の営みが、自然 と人、人と人との和解を探 る以外、我々が生き延びる

うなるのかという問題を提 起し、人に共感することが 本物の愛につながることを 示している。
加えて、1936年にチ ャップリンが製作した映画 『モダンタイムス』では、 機械化の中で人間らしさを 失う危険性を予測してい る。ITやAIによって便 利になり、ゆとりが出るは ずなのに益々忙しく働かさ れている現実がある。
このような時代や社会の 中でキリスト教学校はどの ようなことを見えていく べきか。その第一は、モノ や情報があふれる社会に流 されるのではなく、立ち止 まって使命と可能性につい て考えることである。
第二は、人と人、人と自 然が出会い、理解し、共生

道はないだろう。「天、 共に在り」(246頁)
第三に、キリスト教学校 が先駆けとなった英語教 育、国際教育、女子教育、 社会福祉教育などは一般に 広がり、優位性がなくなっ ているが、その本質を深め ることである。
一つの例として、多くの 公立学校で「二人ひとり を大切に」と言いつ つ、「グローバル人材の育 成」という言葉の使用を目 にする。しかし、人間は 「材料」ではなく、一人ひとりが神から与えられた替 わることのできない「人 格」を備えていることを忘 れてはいけない。そのこと を自覚して「人格」を育む 教育がキリスト教学校には 求められている。
《明治学院学院長、教育同 盟教研担当常任理事》

一般社団法人キリスト教学校教育同盟 「eラーニング」による 教員免許状更新講習について

いつでも、どこでもインターネットで受講が 可能です。
・キリスト教学校教育を主とした講座です。
・20年度申込受付2月16日～21年3月30日
・受講開始4月16日
詳細は教育同盟ホーム ページかQRコードより ご覧下さい。



一般社団法人キリスト教学校教育同盟 2020年度「キリスト教学校 教育振興助成」の募集について

キリスト教学校教育を推進する研修・研究等へ の助成制度です。要項・申請書等詳細は教育同盟 ホームページ(トップページ「お知らせ」)に3 月中旬頃掲載します。
助成金：総額300万円
助成先選考日程(予定)
4月6日(月) 募集開始
6月13日(土) 締め切り
7月6日(月) 助成先発表

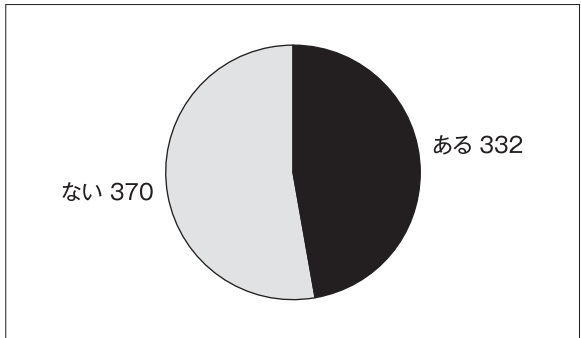
（3面よりつづく）

（回答より）

思った以上にキリスト教教育がしっかりと行われている。宗教行事だけではなく、日常の行動の規範として生徒にも教職員にもキリスト教の価値観が反映されていることが多い。教職員の方向性が大きく同じである。（特に生徒指導の面で）クリスチャン教員と予想以上に良い関係性を築けた。聖書や讃美歌が生活に結びついた場面が意外に多い。キリスト教学校のもつ雰囲気（学生を丁寧にみるところ。穏やかな先生が多い。生徒が比較的落ち着いている。）

予算執行など学校運営の難しさ。数字に基づいた議論を避ける傾向。集団の意思決定の難しさ。（民間企業から見ると時代遅れ）学生・生徒の学習意欲、学力の低下。働きすぎ。日曜日勤務の多さ。

7. 現在勤めていて困っていること、或いは学校の運営上の課題はありますか？



（総評）キリスト教教育と建学の精神に関しては、管理職による軽視や教職員の理解不足、進学教育とキリスト教教育の整合性への疑問、キリスト教行事の過多への疑問が多くを占めた。経営と管理については法人の経営方針が明確でなく、定数確保、教職員の雇用と年齢バランスへの不安、学内コミュニケーションが不十分、管理運営の不備と不満、教職員の人手不足から来る仕事量の増大などがあげられた。改革と組織運営では伝統校が持つ改革の遅さ、従来の規則や規程の見直しの遅さ、教職員意識が旧態依然で、縦型組織の弊害がでている、新任教員教育や研修の不足などが挙げられた。

（回答より）

キリスト教及びその周辺に関わること

学校内でのキリスト教の宗教活動の軽視。生徒への宗教教育理解が不十分。管理職によるキリスト教教育の軽視。進学と人間教育のはざまでの困難さ。キリスト教行事が多く他の業務に差し支える。通常業務が多すぎキリスト教行事ができない。職員の礼拝への参加ができない。クリスチャンコードがあるが故に管理職につけない。クリスチャンであるがゆえに業務で多用される。ノンクリスチャンが多いためクリスチャン教職員にキリスト教関連業務が集中している。

経営に関わること

経営方針が不明瞭。学生数の減少、定員割れ。教職員の人手不足。疲弊する仕事量。資金不足。寄付への努力。女子校の今後の不安。組織マネジメント。コミュニケーション。非常勤教職員の多用。設置校間の協力体制がよくない。予算不足によるICT導入の遅れ。年齢構成のアンバランス。

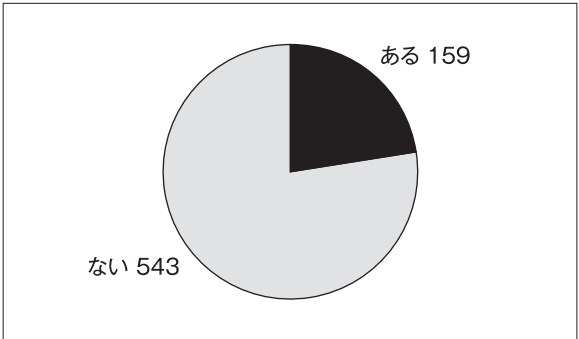
管理に関すること

管理職の理解のなさ。職務規程の遵守のなさ。勤怠管理・教職員の協働体制の不備。働き方改革の遅れ。学年・組織内の不一致。教職員研修。

改革・組織運営に関すること

伝統校であるが故の改革の遅れ。先輩が残した負の遺産が大きい。就業規則の見直し。意識改革の遅れ。若い教職員への教育の遅れ。職種による職場教育の遅れ。学級経営や生徒対応への学び不足と教育する場のなさ。データに基づいて改革ができていない。スピーディーな改革ができていない。教・職の協働。兼務が多く、仕事量の増大。情報共有が停滞。

8. キリスト教学校ならではの取り組みとして「こんなことをやってみたい」ということはありますか？



（総評）702人の回答の内、77%にあたる543人が「ない」と回答したことをどのように受け止めるのか。この数字を「現状に満足している」と解釈するか、或いは「期待していない」と理解するか。それを判断するには、その回答内容についての更なる考察が必要となろう。一方、全体の23%ではあるが、159人が「ある」と回答した、その内容には、今後のキリスト教学校の在り方を明るく展望できる、可能性に触れる貴重な回答が数多くあった。以下、簡素にカテゴリーに分け、その内容を俯瞰してみることにする。

（回答より考察）

教育・カリキュラムに関すること

人権、平和、ジェンダーなど、キリスト教的視点からの学びの充実や、キリスト教、聖書とリンクした英語教育の実践、キリスト教音楽・キリスト教美術を学ぶ機会の提供、聖書を基礎にした各教科を横断する学びの手法など、興味深い回答が目立った。キリスト教による全人的な教育への期待は高いように見受けられる。

キリスト教の実践に関すること

教員自らが、キリスト教学校としての自校の建学の精神あるいは特色、また聖書や礼拝、キリスト教を学ぶ機会があると良い、との回答が目立った。また、そうした学びの場を学生と共に創り上げていくことを期待する回答も多い。チャプレンを交えての保護者対象の子育てカフェの開催のアイデアなどは興味深い。

礼拝に関すること

子どもたちによる礼拝奨励、子どもたちが楽器を演奏しての讃美礼拝、聖歌隊を編成するなど、礼拝の充実、礼拝を豊かに守るための工夫を求める回答が多い。礼拝を通して、互いに祈り合うことが教員、児童・学生、相互の励ましとなることへの期待がうかがえる。

地域連携・社会貢献に関すること

地域社会と連携、連帯しつつ、ボランティア活動などを通して、そこに暮らす人たちの実存に触れることがキリスト教教育の深化につながる、との理解がどの回答からも見受けられる。座学とフィールドの往還的な学びへの期待が大きいようである。

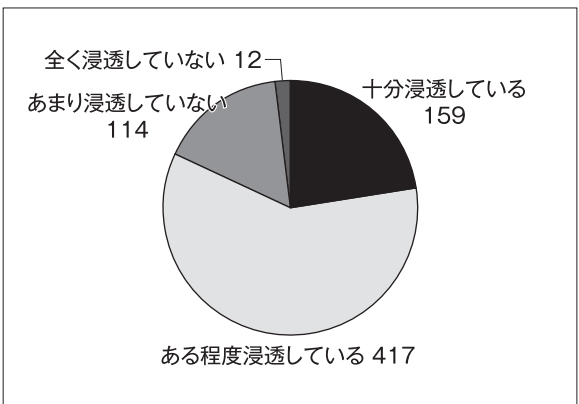
対外的な交流に関すること

他校との交流や協働の広がりを期待する回答が多い。合同キャンプや合同礼拝など、実現の可能性が高い意見なども注目される。キリスト教学校間で、これまで構築してきたネットワークの有用な活用への期待が大きいようである。

その他

キリスト教学校に奉職する者としての自己の成長に期待する回答や、キリスト教学校として公立学校との差異化などに言及した意見もあった。教育におけるキリスト教の役割とその限界、自己の生き方、在り方へのキリスト教の影響、キリスト教に依拠したキャンパスデザインなど、幅広く興味深い意見が散見された。

9. 勤める学校において「建学の精神」は学内でどの程度浸透し理解されていますか？



クロス分析とまとめ

今回の回答者は教員と職員、学校のグレードも小・中・高・大・大学院・専門学校・特別支援学校と様々であるためクロス分析が必要である。学校種を小中高と大学大学院専門学校（大学と略）とに分け、更にそれぞれ教員と職員とに分けると、小中高は教員が92.2%、職員が7.8%、大学の方は教員が48.4%、職員が51.6%の回答者構成比であった。

クロス分析により興味深い点が幾つか浮かび上がった。まず、「2 キリスト教学校在籍経験」は全体ではほぼ均等だが、小中高教員は「ない44.8%：ある55.2%」で大学教員は「ない61.6%：ある38.4%」であり、職員は小中高も大学もほぼ半々であった。次に「3 私立勤務重視傾向」を見ていくと小中高は私立勤務重視傾向が教員（80.4%）、職員（61.5%）共にその傾向が見られるが、大学教員はむしろ逆で重視せず傾向が60.4%、大学事務職員は半々であった。この問いで私立勤務重視傾向が見られた人に更に尋ねた「4 キリスト教学校勤務重視傾向」は、小中高教員（57.3%）と大学教員（69.2%）は共に重視傾向が見られたが、小中高職員（50%）、大学職員（40%）と重視傾向は見られなかった。

「5 勤めるにあたって最も重視した点」で「人間教育」を選んだのは小中高教員が49.7%、小中高職員が50%、大学職員が45.1%と最も高い割合であるが、大学教員は「教科教育」が39.6%で最も高かった。大学教員は専門性を勤める上での重点にしているのは当然であろう。また、「運営状況」や「その他」を選ぶ割合が小中高職員で34.6%、大学職員で42.3%と高かったのは、他の選択肢が教育の内容だったからであろう。

「6 勤めてみて予想してなかった気づきの有無」は、小中高教員は「ある」が53.9%で半数を超えたが、小中高職員は42.3%、大学教員は42.7%、大学職員は37.7%と半分を下回っていた。キリスト教学校の営みに特異な点がありなということなのか、あっても予想の範囲内であったということなのか、或いは無関心なのかは不明である。

「7 勤めていて困っていること・課題」の有無は小中高教員だけは「ある」が52.6%で半数を超え、「ある」の回答は小中高職員が26.9%、大学教員が43.9%、大学職員が41.1%であった。「ある」と答えてその内容を記述する面倒さを覚えても尚記したい程の困難を小中高教員は抱えている現実があるのかもしれない。

「8 こんなことやってみたいというキリスト教学校ならではの取り組み」の有無に対する回答は「ない」がいずれでも多く、小中高教員が71.2%、小中高職員が96.2%、大学教員が80.5%、大学職員が83.4%であった。キリスト教学校ならではの新たな試みの提案や発想を抱きつつ勤めているのかどうかの実態の一つがここにある。逆に「ある」と答え内容を記して下さったそのアイデアは傾聴に値するであろう。「ある」と答えた方々を経験年数別に見ると、小中高教員と大学職員は1年目の方が最も多く、大学教員は5年目の方が最も多いという点が興味深い。最後の「9 建学の精神の浸透実感」は小中高と大学、教員と職員の別なく、いずれも80%くらい、或いはそれ以上に浸透している方の実感を持っている様子がうかがえた。喜ばしいことである。

このアンケートを実施しての第一の感想は、全国のキリスト教学校に奉職する702人ものフレッシュな方々が回答してくださったことである。こうした声をこれからも吸い上げて皆で聴き合い、指摘や課題の共有、アイデアや提案、先進的な取り組みの共有を通じて「キリスト教学校の課題と展望のプラットフォーム」を構築していくことが、この本紙や同盟HPの役割の一つであろうと感じた。連合・同盟主義（unionism）と自国中心主義（nationalism）との間で世界でも変化が見られ始めているようだが、本同盟は前者によって立つことに価値と信頼を置くものであることを再確認したいものである。

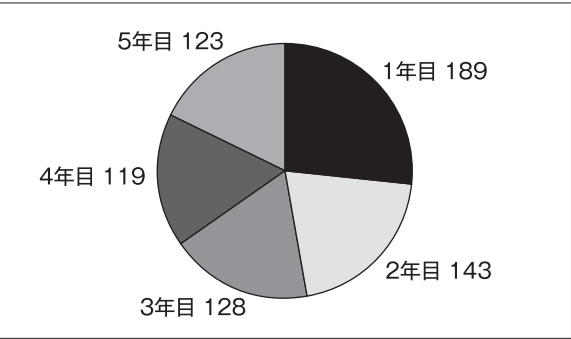
加盟校勤続5年以下教員・職員アンケート集計

明日のキリスト教学校

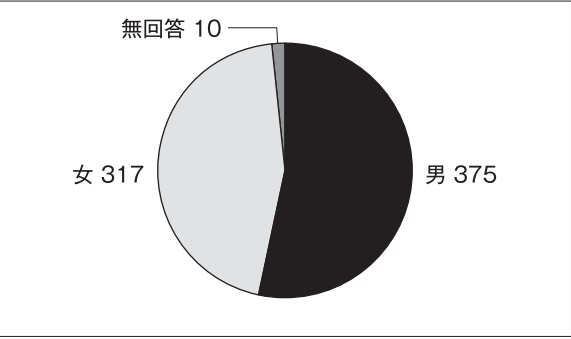
昨年の本紙9月号第1面の事務職員夏期学校参加者の集合写真を見て「いいなあ」と率直に感じました。青々とした芝生の上で満面の笑顔で写っている人が多かったからです。さぞかし良い研修会だったのだろうと想像出来ました。比較的若い世代の方々が参加者として多いように見て取れましたが、この方々が20年後30年後に各キリスト教学校で事務職員として中核的な働きをしているのだろうと想像すると、期待の思いが膨らみます。このようなフレッシュな方々の声を是非聴いてみたい、という思いが全国広報委員会場で共有され、今回のアンケート実施に結び付きました。これまでのアンケートは各学校の学院長・学長・校長・事務長といった管理責任のある方々を対象とするのが専らでしたが、今回は違うというのが最大の特徴です。勤続年数の少ない方々にとってキリスト教学校で働くことがどのように感じられているのか、その声に耳を傾ける必要があると思います。手法も事務局に送付（郵送・FAX・メール）に加えてQRコードからアンケートフォームへのダイレクトな回答を導入しました。その内訳が事務局送付251件に対しアンケートフォーム入力451件であったことから、これまでのアンケートと違った様相でした。回答のスピード感も違います。12月12日（木）に事務局から各学校に送付後、1週間も経たない18日（水）に早くも入力回答数120件に達していました。そして入力回答数299件で年越しとなりました。このスピード感はかつてなかったことで、回答者の反応の良さに励まされつつ、アンケートが備えるべき答え易さを改めて認識させられました。最終的には事務局への送付分と併せて702件となりました。回答してくださった皆様、誠に有難うございました。（広報委員会）

1. 基礎情報としてお答えください。

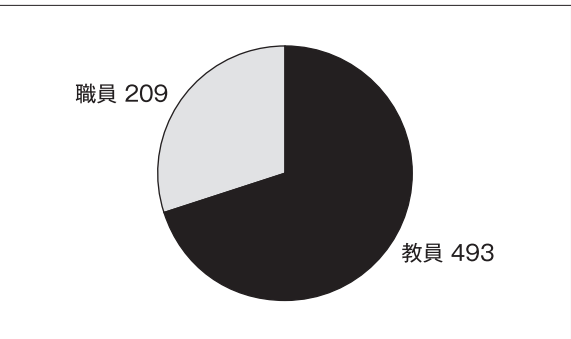
①勤続年数



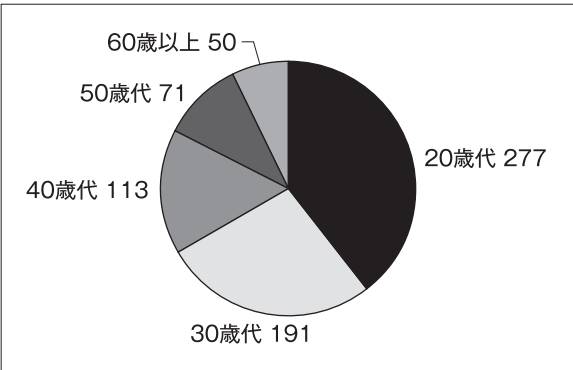
②性別



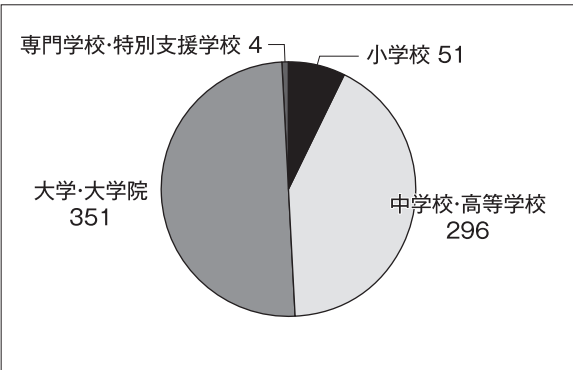
③職種



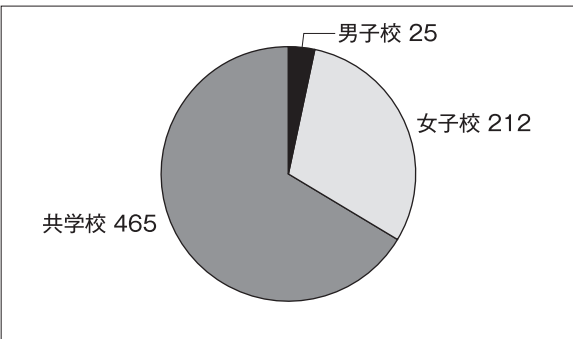
④年代



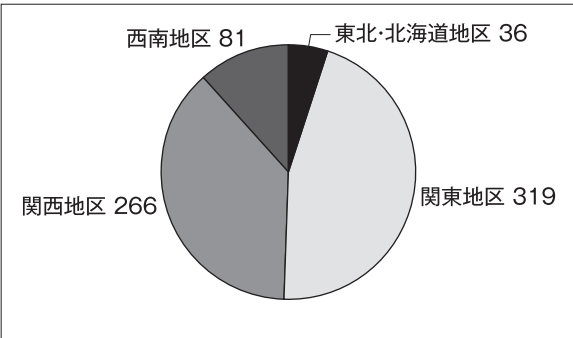
⑤勤務校の種類



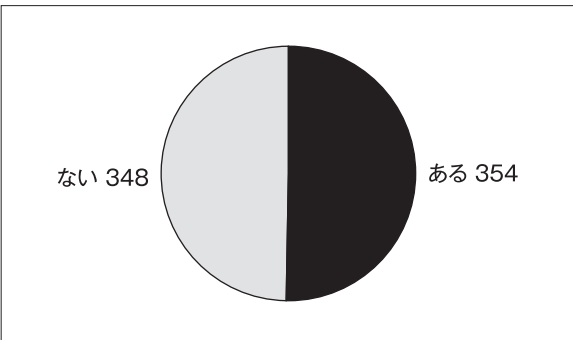
⑥勤務校の在学者の男女構成



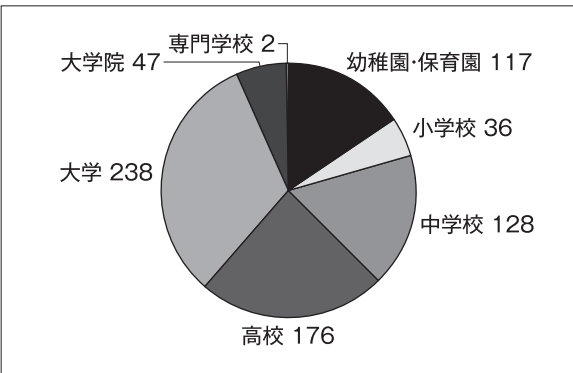
⑦地域



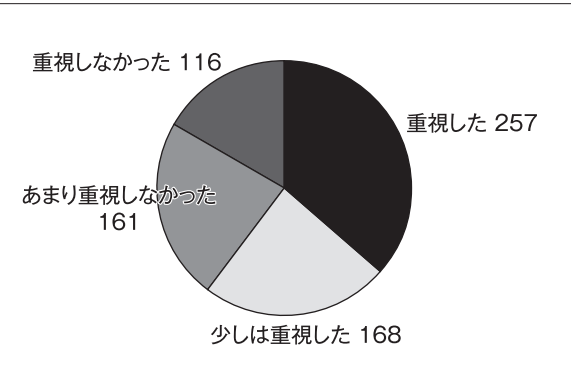
2. あなたはこれまでにキリスト教教育（プロテスタント、カトリックどちらでも）の学校や園に在籍したことはありますか？



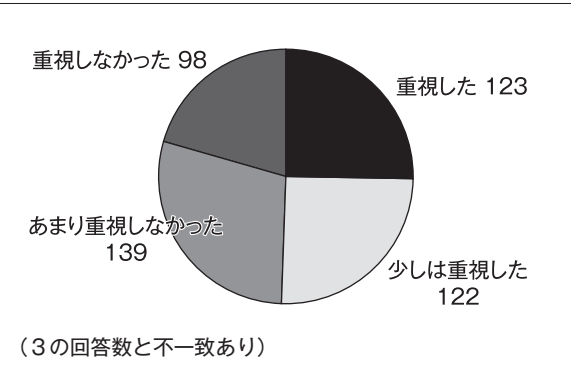
それはいつですか？（複数可）



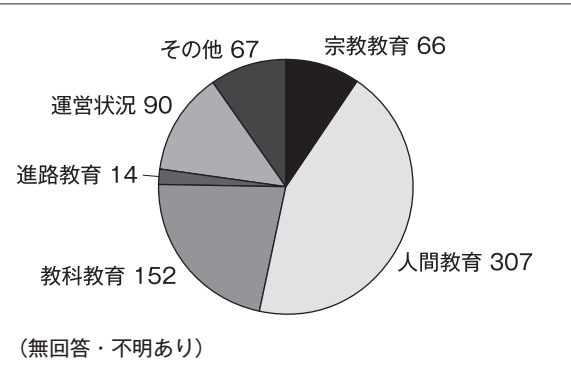
3. 私立の学校で働くことをどの程度重視しましたか？



4. 3で「重視した」、 「少しは重視した」と答えた方は、キリスト教学校で働くことをどの程度重視しましたか？



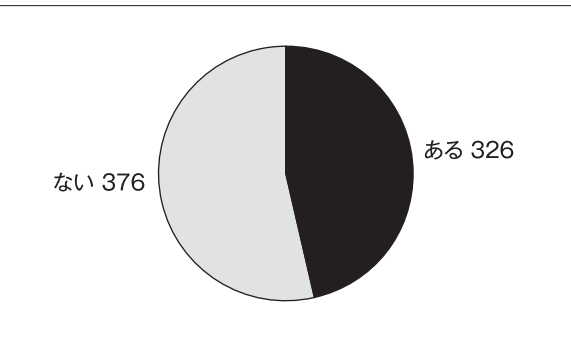
5. あなたは現在の学校に勤めるにあたって最も重視したのは次のうちのどの点ですか？



※その他の内容

・キリスト教の学校だから、勤務地・地域が便利だから、学校の印象、イメージ・環境、出身校だから、業務内容・労働条件・研究内容、部活指導、経験を活かせる、特別支援・障がい者雇用、等

6. 実際勤めてみて当初予想してなかった気づきはありましたか？



（総評）回答者の46%が「ある」と答えた。記述内容は、キリスト教学校ならではの気づきから、社会人としての戸惑いまで多岐にわたっていたが、キリスト教教育に肯定的な内容が多くみられた。もちろん勤務する学校により違いはあるが、聖書を読み、讃美歌を歌う環境に教職員自身が育てられていることに気づいた事は、キリスト教学校の持つ特徴であろう。一方、集団としての動きの遅さや学校運営の難しさ、仕事の過重負担などに問題を感じている姿も浮き彫りとなった。

（2面につづく）

創立者のもう一つの想い

聖ステパノ学園



澤田 美喜

小川正夫〈聖ステパノ学園学園長〉

澤田美喜はこれら殉教者の子孫が切支丹禁制の厳しい世の中で過酷な迫害の中、信仰に殉じた人達の血と涙を含んだ品々の前で悩む人達に生きることの意味を感じて欲しいと願っていました。

キリスト教教育者物語

75

聖ステパノ学園の創立者澤田美喜は外交官の夫君澤田廉三と世界各地に駐在しましたが、1936年英国、仏国、米国の駐在を終え、新たな赴任先満州国（現在の中国東北地方）に向かうために一時日本に帰国する桑港（サンフランシスコ）から横浜港に向かう白山丸船内の図書室でふと手にした本に心を奪われます。

それは日本切支丹殉教者の記録との出会いでした。ローマの殉教者達のそれにもまして美しい殉教が日本にあったことに気付きました。それから40年の間長崎県の五島列島、生月島、熊本県の天草地方を訪れては潜伏切支丹の遺物を集め、その数千点を蒐集し信仰の息吹を感じていました。遺物の一つひとつには信仰の証が目立たぬように組み込まれており、仏像や観音像、恵比寿像や大黒天像の背中や底をくり抜き十字の印しを刻み込む、簪の飾りに花模様のように十字を刻み込む、武士の魂といわれた刀剣の鐔に十字の印しを刻み込む、桔梗など秋草を十字に絡ませる、茶の湯をたてる茶碗に何気なく模様のように十字架の十字を印し、聖餐式でキリストが流された血を忍び濃茶を戴いたと思われるなど、様々な知恵と工夫が隠されています。その一つひとつは単に宗教的な意味合いがあるばかりでなく、芸術的にも日本人の精神的な感性がにじみ出ています。

韓国基督教学校聯盟總會ソウルで開催される

第57回韓国基督教学校聯盟總會が1月13日から15日まで、ソウル特別市オリンピックパークホテルで開かれた。同聯盟と教育同盟は相互に總會に招待しているが、今回は松田和憲国際交流担当理事が出席した。

総会の主題は「ミッシェン・スクールと韓国のアイデンティティ」。参加者は同聯盟の理事長・院長・校長等43名で、内容は礼拝、主題に基づく講義や発題の研修、親睦が中心で、会議（総会）は1時間半であった。開会礼拝はソウル教会のイジョン・ユン牧師が主行伝13章1〜3節・エフソンの信徒への手紙2章19〜22節をテキストに

（チェンギョ聖山孝大 学総長）「私学の現実と発展方法」（イキョングン私立中高法人協議会 事務総長）であった。韓国も温暖化の影響が顕著であり、新しい時代の様々な改革に向けて教育面、私学の改革でも課題が多いことを感じた。（事務局報）

2020年度学内教職員研修会講師派遣対象校選考結果

法人・校名	研修人数	希望テーマ
茨城キリスト教学園	70	キリスト教学校におけるキリスト教教育の担い手としてのノンクリスチャンの役割
共愛学園	30	キリスト教主義学校に勤める意義について
草苑学園 草苑保育専門学校	40	学校教育と宗教 又は、学校教育における宗教活動
神戸教育短期大学（夙川学院短期大学）、付属幼稚園	30	キリスト教主義学校における人格教育
清和女子中学・高等学校	20	キリスト教学校における特別支援のあり方

公募

▽東北学院大学
文学部総合人文学科
職種Ⅱ①実践神学領域
教授、准教授、講師又は助教②美術関連領域
教授、准教授又は講師
各一名
採用予定日＝21年4月1日
応募締切＝4月30日
問合せ＝kawashima@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
▽フェリス学院大学
文学部
職種Ⅱ英語圏の言語もしくは文化研究 教授、准教授又は助教1名
採用予定日＝10月1日
（ただし21年4月1日もあり得る）
応募締切＝3月24日

▽東北学院大学
文学部総合人文学科
職種Ⅱ①実践神学領域
教授、准教授、講師又は助教②美術関連領域
教授、准教授又は講師
各一名
採用予定日＝21年4月1日
応募締切＝4月30日
問合せ＝kawashima@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
▽フェリス学院大学
文学部
職種Ⅱ英語圏の言語もしくは文化研究 教授、准教授又は助教1名
採用予定日＝10月1日
（ただし21年4月1日もあり得る）
応募締切＝3月24日

新型コロナウイルスが拡大。潜伏期間が長くピークや終息が予測出来ない不安。見えないウイルスが日常生活に潜む前提で行動することが必要とこのこと。学校現場も大変ですが予防、診断、治療が進むことを祈ります。20・21年度の教研テーマを策定（1面）。他者を顧みない時代にキリスト教学校の存在の意味、役割よい機会に。事務局長

事務局だより

＜行事予定＞
6／5～6 第108回定時総会（桜美林大学新宿キャンパス）
20 第65回東日本小学校教職員協議会（関東学院六浦小学校）
7／18～20 第64回事務職員夏期学校（東山荘）
31 第7回西日本小学校教職員協議会（西南学院小学校）
8／4～6 第7回中堅教員リトリート（同志社びわこリトリートセンター）
15～17 教員リフレッシュ合宿（奈良県洞川温泉）
18～19 第5回全国災害支援連絡会議（仙台・南三陸）
20～21 第10回中堅事務職員リトリート（同志社びわこリトリートセンター）
24～25 第6回全国事務局長・事務長会議（東北学院）
28～29 第7回大学新任教員研修会（関西学院大学）

キリスト教Q&A

—キリスト教の理解を深めるために—

説教って何ですか？

怒られることはありません。

中1の聖書の授業で、教会の礼拝について説明をします。日曜日に集まり、讃美歌を歌い、聖書を読み、説教を聴き…「えっ、説教？」生徒の頭の中では「説教」＝「先生に怒られること」となっていて、平日に学校で先生に怒られ、日曜日に教会に行ってもまた怒られたらたまりません。「げーっ、教会なんて行きたくない！」となります。怒られはしなくとも「こう生きなさい！あーしたらダメ」と窮屈そうなことを言われそう。そのようなイメージが、若者を教会から遠ざけているのかもしれない。

「説教」＝「福音・喜ばしいメッセージ」。それを聴いた人が、生き活きとまた新しい一週間を生きていこう！と励まされる話。これが教会の説教です。

主イエスは当時「罪人」とレッテルを貼られ生きる価値のない者とされた人々のところに行き、「あなたの罪はゆるされた。安心して行きなさい」と宣言されました。主イエスの言葉を聴いた人は「罪人」のレッテルを解かれ、全否定の呪縛から解放され、希望をもって新しい人生を歩んでいったことが聖書に記されています。「罪人」

大藪博康

（名古屋学院宗教部長）

になったのは、律法を守らないその人の自己責任か、先祖が悪いことをした結果だと語られています。主イエスは「あなたの責任でも、先祖の責任でもないよ。その責任は全部私が受け持てあげるよ」と語られ、そのように生き、そして十字架で死なれたのです。

今日、若者たちは、結果を出せないのは「あなたの努力が足りないからだ」「自己責任だ」と追い詰められています。しかし、だれが完全に自己責任で生きることができるのでしょうか？人は生まれる時も死ぬときも自分の力では何もできません。生きている間も多くの人の支えがあって生きていけるのです。「すべて自己責任で生きています」という人がいたら教えてください！「正しい者はいない。一人もいない。」（ローマの信徒への手紙3章10節）

神様にゆだねる生き方は、自己責任の生き方をやめることです。神様が私の人生に責任をもって関わってくださっていることを信じることです。

このような現代だからこそ、教会に行き、「安心して行きなさい！」「大丈夫だよ！」という説教を聴くことが必要だと思います。